

2023 年 度

香川大学大学院農学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

（一 般 選 拔 後 期）

（社会人特別選抜後期）

2022年10月

香川大学大学院農学研究科

〒761－0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 （087） 891－3015（直通）

農学研究科の教育理念

香川大学大学院農学研究科は、生物がもつ多様な機能を探究し、応用生物学領域の学術的展開を図るとともに、有用資源の創成や活用に関する応用技術の開発に向けた先端的かつ総合的な教育・研究を行い、生物資源の生産と利用に関する高度な専門知識と技能、課題探求と解決能力、及び実践的能力を備えた人材の育成と、国際水準の学術的研究を通じて広く社会への貢献を目指します。

応用生物・希少糖科学専攻

本専攻は、動植物・微生物等の機能や有用性を食料生産、生物資源の利活用と開発、環境の保全等へ広く応用展開する応用生物学と、本学の特色である希少糖に関する高度な専門知識と技能を備え、国内外の多様な生物産業関連分野で活躍できる高度専門人材を育成します。そのため、食料、生命、環境、及び希少糖に関する高度で幅広い専門的知識と技能、自ら課題を見出し解決に向け取り組むことのできる実践力、高度専門人材に求められる高い倫理性と協調性、国際・地域社会において求められる情報伝達能力を修得させます。

本専攻は以下に示す4つの教育コースを設置します。

<希少糖先端科学コース>

希少糖研究の歴史的な経緯を踏まえつつ、最新の動向を把握し、希少糖に係る基礎及び応用開発に関する高度な専門知識と技能を身に付け、これらを研究開発や産業応用の場において活用できる人材を育成します。そのため、「希少糖」をイノベーションとして捉え、開発背景・諸性質・機能性・産業展開・用途開発などについて糖質バイオサイエンスを基盤として多面的・総合的に学び、希少糖に係る学術および関連産業の発展を担うことができる能力を修得させます。

<環境生物科学コース>

里山、陸水、里海などの生活・生産圏の生態系の構造と機能を理解して、それらの保存・修復に寄与できる、あるいは、それらの環境下での生物資源生産システムを最適化して、安定的かつ持続的な生物資源の供給に寄与できる人材を養成します。そのため、生物生産科学・園芸科学・環境科学等に加え、希少糖の応用を含めた幅広い専門知識と技能を学び、国内外において、環境保全や農林水産業における課題解決に資する能力を修得させます。

<生物化学・食品科学コース>

化学（分析化学・物理化学・有機化学・高分子化学）及び生化学、あるいは食品科学に関する知識と手法を身に付け、健康長寿社会に貢献し、環境に配慮したグリーン社会の構築を担うことのできる人材を育成します。そのため、生物資源・バイオマス、食品、及び希少糖類を研究素材とし、それらの化学的解明、高機能物質の開発、食品の安全性や健康機能性に係る知識と技術を学び、地域特産物や未活用資源を用いた食品開発や有用資源化を担うことができる能力を修得させます。

<応用生命科学コース>

生命現象や生物が作る様々な物質の特性及び機能を分子・遺伝子レベルで解明し、利用・開発に関する知識・技術を身に付け、動植物・微生物の機能の高度な活用を担う人材を育成します。そのため、生物学を基盤として、生物学・生化学・分子生物学分野を幅広くかつ深く学び、有用生物や生物機能を利用して生産される希少糖を含む有用物質の研究を通じて、生物資源の利活用・開発に繋げる能力を修得させます。

アドミッションポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◇入学者に求める学力・能力・資質等

大学院入学までに以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能・理解力

生物資源の生産と利用に関する大学卒業程度の基礎知識・理解力

②思考力・判断力・表現力

自らの論理的思考・判断に基づき生物資源の生産と利用に関する諸課題を説明できる表現力

③研究能力・応用力

生物資源の生産と利用に関連する研究を遂行するための基礎的技能・応用力

④探求心・意欲・態度

生物資源の生産と利用に関する諸分野について学び、研究することに対する高い志・意欲・態度と創造的な探求心

⑤倫理観・社会的責任

自然環境と調和した持続可能な社会の実現をめざす倫理観とその社会的責任を理解できる能力

⑥グローバルマインド

生物資源の生産と利活用に関連する国内外の情報を理解するための基本的語学能力とそれらを国際社会や地域社会の課題として捉えることのできる国際感覚

◇選抜方法の趣旨

○一般選抜・社会人特別選抜 前期

筆記試験の「専門」では進学志望領域の教員の専門分野から出題し、修学に必要な知識・理解力、論理的思考力・表現力を評価します。「外国語」では英語を出題し、修学に必要な知識・理解力、コミュニケーションに必要な言語運用能力を評価します。なお、社会人特別選抜では外国語試験を免除します。

口頭試問では提出書類（成績証明書等）を参考にしながら、勉学・研究に対する意欲・態度、自分の考えを論理的に構築し伝える思考力・判断力・表現力、及び持続可能な社会の実現にとって不可欠な倫理観・社会的責任等を評価します。

○一般選抜・社会人特別選抜 後期

プレゼンテーションでは卒業研究の内容と入学後の研究計画を口頭発表し、研究遂行能力・応用力、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力・発信力を評価します。ただし、飛び入学希望者や卒業研究を履修していない学生等については、志望理由と入学後の研究計画を口頭発表してください。

口頭試問では提出書類（成績証明書等）を参考にしながら、修学に必要な知識・理解力、勉学・研究に対する意欲・態度、自分の考えを論理的に構築し伝える思考力・判断力・表現力、及び持続可能な社会の実現にとって不可欠な倫理観・社会的責任等を評価します。

○特別選抜（自己推薦方式）

口頭試問では提出書類（成績証明書等）を参考にしながら、修学に必要な知識・理解力、勉学・研究に対する意欲・態度、自分の考えを論理的に構築し伝える思考力・判断力・表現力、及び持続可能な社会の実現にとって不可欠な倫理観・社会的責任等を評価します。

2023年度入試概要

選抜方法		特別選抜 ²⁾ (自己推薦方式)	一般選抜・社会人特別選抜		外国人留学生 特別選抜
			前 期	後 期	
¹⁾ 募集人員等	応用生物・ 希少糖科学専攻 (合計60人)	30	30	若干人	若干人
日程等	出 願 期 間	2022年 6月6日(月)～ 6月16日(木)	2022年 7月14日(木)～ 7月25日(月)	2022年12月7日(水)～12月14日(水)	
	試 験 日	2022年 7月7日(木)	2022年 8月24日(水)・ 25日(木)	2023年1月19日(木)	
	試 験 種 目	口 頭 試 問 ³⁾	筆 記 試 験 (外国語・専門) ⁴⁾ 口 頭 試 問 ³⁾	プレゼンテーション ⁵⁾ と口頭試問 ³⁾	
	合 格 者 発 表	2022年 7月15日(金)	2022年 9月9日(金)	2023年2月8日(水)	

- 注 1) いずれの選抜方法でも、募集人員以上の合格者を出すことがあります。外国人留学生については、2022年12月頃に募集する外国人留学生特別選抜でも受験できます。社会人については、一般選抜前期・後期と同日に実施される社会人特別選抜でも受験できます。
- 2) 特別選抜（自己推薦方式）の受験資格について
大学在学中のものは、2022年3月31日時点で卒業要件単位のうち100単位以上取得しており、かつ優以上が60単位以上であること（学校教育法第89条（いわゆる早期卒業）の規定によるものはこの条件を満たさなくても出願資格がある）。編入学生については、3年次に取得した単位の6割以上が優以上であること。既卒者は、修得単位のうち6割以上が優以上であること。
- 3) 口頭試問では、提出書類などを参考にしながら、志望動機、修学に必要な知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを審査します。
- 4) 筆記試験の専門は、志望教員の専門分野から出題されます。なお、社会人特別選抜の外国語試験はありません。
- 5) 卒業研究の内容と入学後の研究計画を口頭発表してください。ただし、飛び入学希望者や卒業研究を履修していない学生等については、志望理由と入学後の研究計画を口頭発表してください。なお、口頭発表にはパソコンとプロジェクターを使用することはできますが、発表原稿（プレゼンテーションソフトの発表原稿機能を含む）は使えません。パソコンについては持参してください。

目 次

I. 2023年度香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項（一般選抜後期）

1. 専攻及び募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願資格審査について	2
4. 出願手続	3
5. 入学者選抜方法	4
6. 試験等の期日及び場所	4
7. 合格者発表	4
8. 入学手続	4
9. 注意事項	5

II. 2023年度香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項（社会人特別選抜後期）

1. 趣旨及び目的	6
2. 専攻及び募集人員	6
3. 出願資格	6
4. 出願資格審査について	6
5. 出願要件	7
6. 出願手続	7
7. 入学者選抜方法	8
8. 試験等の期日及び場所	8
9. 合格者発表	9
10. 入学手続	9
11. 社会人の受け入れ	9
12. 特例措置による教育の概要	10
13. 注意事項	10

III. 農学研究科教員名及び専門分野名一覧表

12

IV. 長期履修学生制度について

15

2023 年 度
I. 香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項
（一般選抜後期）

1. 専攻及び募集人員

専 攻	募 集 人 員
応用生物・希少糖科学専攻	若干人

2. 出 願 資 格

入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者及び2023年3月までに指定した者に該当する見込みの者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定（いわゆる飛び入学）に該当する者、すなわち、大学に3年以上在学した者（外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者を含みます）であって、本大学院が、所定の単位を優秀な成績をもって修得する見込みと認めたもの【注】
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入學させる本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があり、受験資格があると本大学院が認めた者で、22歳に達したものと及び2023年3月31日までに22歳に達するもの

【注】飛び入学制度について

出願資格(9)による出願希望者は、次の出願要件1)又は2)を満たす必要があります。

出願要件

- 1) 本学農学部在学学生の場合：3年次前期終了時に、課題研究を除く卒業要件単位数の80%以上を修得し、GPAが学年上位10%の下限値を下回らないこと（これを満たすGPAの値は、本学農学部学務係に問い合わせること）
- 2) 他学部及び他大学の学生の場合：3年次終了時に、課題研究又はこれに相当する授業科目（以下、課題研究とする）を除く卒業要件単位数の9割以上を修得見込みであり、3年次終了時に、課題研究を除く卒業要件単位の8割以上が、100点を満点として80点以上又はこれに相当する評価を得る見込みであること

なお、出願資格（9）により受験し合格した者が入学を認められるためには、次の入学資格要件1）又は2）を満たす必要があります。

入学資格要件

- 1) 本学農学部在学学生の場合：3年次終了時に、課題研究を除く卒業要件単位数の90%以上を修得しており、3年次終了時のGPAが上記の出願要件GPAの値を下回らないこと
- 2) 他学部及び他大学の学生の場合：3年次終了時に課題研究を除く卒業要件単位数の9割以上を修得しており、課題研究を除く卒業要件単位の8割以上が、100点を満点として80点以上又はこれに相当する評価を得ていること

出願要件1）及び入学資格要件1）のGPAは、卒業要件に算定される単位を集計したものとします。また、この飛び入学制度により修士課程に入学すると、学籍上の身分は学部退学となります。

3. 出願資格審査について

出願資格の（9）・（10）・（11）により出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

（1）提出書類等

出願資格（9）（10）（11）共通	
出願資格審査申請書	本学所定の用紙により、作成してください。
出願資格（9）により出願する場合	
成績証明書	出身大学（学部）の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを提出してください。
在学期間証明書	出身大学（学部）の長が作成したものを提出してください。
出願資格（10）により出願する場合	
成績証明書	出身大学院（研究科）の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを提出してください。
在学証明書又は修了証明書	出身大学院（研究科）の長が作成したものを提出してください。
出願資格（11）により出願する場合	
成績証明書	出身学校の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを提出してください。
卒業・修了（見込）証明書	出身学校の長が作成したものを提出してください。
修学等状況報告書	学習、研究あるいは実務の状況について、記述してください（A4用紙1枚以内、35文字×30行 1,000字程度）。

※上記以外の書類を請求する場合があります。

（2）申請書類等の提出期限

2022年11月17日（木）17時まで（必着）

- ・窓口受付時間は、9時から17時までとします。
- ・郵送の場合は、期限内に**必着**するようにしてください。

なお、期限を過ぎて到着したものは受理しません。

- (3) 出願資格審査の方法
提出書類により行います。なお、本大学院が必要と認めた場合は、面接を行います。
- (4) 出願資格審査書類の提出先及び問い合わせ先
香川大学農学部学務係
〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393
電話 (087) 891-3015 (直通)
(出願資格審査書類を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。)

4. 出 願 手 続

- (1) 受験希望者は、出願前に志望教員(受験者が入学後に指導を希望する教員)と入学後の研究内容などについて相談してください。本研究科では、応用生物科学の全分野において希少糖の研究教育が受けられると同時に、すべての分野で横断的な教育を実現するために1専攻4コース制をとっています。よって入学後は、指導を受ける教員に関わらず、研究内容によって4つの教育コースの中から自分が受ける教育コースを選択することができます。なお、不明な点がある場合は、学務係(下記参照)へ電話で問い合わせてください。
- (2) 出願期間
2022年12月7日(水)から12月14日(水)まで。
受付時間は、9時から17時までです。
郵送の場合は、12月14日(水)17時必着とします。12月14日(水)17時を過ぎて着いた場合は、12月12日(月)までの消印があり、かつ、「簡易書留速達」であるものに限り受け付けます。
- (3) 出願書類等提出先及び問い合わせ先
香川大学農学部学務係
〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393
電話 (087) 891-3015 (直通)
(出願書類等を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。)
- (4) 出願書類等

入 学 願 書	本学所定の用紙により、作成してください。
成 績 証 明 書	出身学校(学部)の長が作成し、厳封されたものを提出してください。＊本学卒業生及び卒業見込みの者は厳封の必要はありません。3の出願資格審査で提出済の場合は提出不要です。
卒業・修了(見込)証明書	出身学校(学部)の長が作成したものを提出してください。在学中の者は、卒業・修了見込証明書を提出してください。3の出願資格審査で提出済の場合は提出不要です。
プレゼンテーションの要旨	本学所定の様式により、1,200字程度で作成してください。
検 定 料	30,000円。入学願書と一連の「振込依頼書(入金票)」及び「領収書」に必要事項を記入の上、2022年11月30日(水)～12月14日(水)の間に金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く)の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 (注)通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので注意してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	写真票には、出願前6か月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真(4cm×3cm)を、所定の箇所に貼付してください。
受験票等送付用封筒	本学所定の封筒に自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、354円分の郵便切手を貼付してください。
そ の 他	外国人の志願者は、上記の出願書類のほか、在留資格を証明するもの(旅券の写しなど)を添付してください。

- 【注】① 在職中の者は、入学及び修学に支障を来さないよう、勤務先において手続を取っておいください。なお、入学手続時には、所属長等の入学承諾書(様式自由)を提出してください。
- ② 出願資格(2)該当者は、卒業証明書に代えて次の書類のうち1つを提出してください。
- 1) 学位記の写し又は学位授与証明書(大学改革支援・学位授与機構が作成したもの)
 - 2) 修了(見込)証明書(専攻科)(在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの)

- 3) 学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書（大学改革支援・学位授与機構が作成したもの）
又は学士の学位の授与を申請した旨の証明書（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、プレゼンテーション及び口頭試問、成績証明書等の書類を総合して行います。

(1) プレゼンテーション

専 攻	プレゼンテーションの内容
応用生物・希少糖科学専攻	卒業研究の内容と入学後の研究計画を10分程度で発表してください。 ただし、飛び入学希望者や卒業研究を履修していない場合は、志望理由と入学後の研究計画を発表してください。プロジェクターを使用することはできませんが、発表原稿（プレゼンテーションソフトの発表原稿機能を含む）は使えません。パソコンは持参してください。

(2) 口頭試問

口頭試問では、プレゼンテーションの内容について、質疑応答を行います。また、成績証明書等を参考にしながら、志望する動機と修学に必要な知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを評価します。

6. 試験等の期日及び場所

月 日(曜)	区 分	時 間	場 所
1月19日(木)	受 付	12時30分～13時	香川大学農学部学務係 (詳細は、受験票送付時に通知します)
	試 験	13時15分～	

7. 合格者発表

2023年2月8日(水)午前9時頃(予定)から、本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します(電話による照会には応じません)。

香川大学ホームページ：<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

8. 入 学 手 続

合格者には、2023年2月中旬頃に入学手続書類を発送しますので、入学手続期限(必着)までに教育・学生支援部教育企画課へ簡易書留・速達での郵送により手続を行ってください。ただし、最終日に限り、持参による手続を認めます。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

(1) 入学手続期限

2023年3月26日(日)17時まで(必着)

(2) 入学手続に必要なもの

1. 本学所定の誓約書
2. その他本研究科に必要な書類
3. 納付金

入学料	282,000円(予定)
授業料 前期分	267,900円(予定)
(年額)	535,800円(予定)

なお、入学時及び在学中に納付金が改定された場合には、改訂時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、2023年4月1日から2023年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ア. 入学手続を行わなかった場合
- イ. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学料・授業料の納付が困難な学生のために、免除や徴収猶予の制度があります。入学手続書類送付から手続までの期間が短いため、申請希望者は香川大学ホームページ (<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuitioninfo/16198/>) で事前に必要書類をご確認ください。

④ 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、2023年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

(3) 入学手続書類送付先

〒760-8521

高松市幸町1番1号

香川大学教育・学生支援部教育企画課

9. 注 意 事 項

(1) 外国人留学生については、農学部学務係へ照会してください。

(2) 入学手続を完了した場合であっても、大学卒業見込みで出願した者、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者が、2023年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合、学位を授与されなかった場合には、入学手続が無効になります。

(3) 障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：2022年11月17日（木）までです。

相談の方法：申請書（様式自由、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

連 絡 先：香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015（直通）

(4) その他

① 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1) 検定料を払い込んだが本学に出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合

2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※ 上記1)又は2)に該当される方は、香川大学入試課（電話（087）832-1182）へご連絡ください。

② 試験実施の詳細については、試験当日、受付にて指示します。

③ 学生募集要項（願書等を含む）を請求する場合は、香川大学ホームページ (<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/catalogs/>) でご確認ください。

2023 年 度
Ⅱ. 香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項
（社会人特別選抜後期）

1. 趣旨及び目的

現代社会の高度化・複合化と高齢化の進行に伴い、本格的な生涯学習の時代が到来しています。また、自治体・企業や学校教育の現場においても、国際化・高度情報化と各般の技術革新に対応しうよう、職員・社員・教員のリカレント教育の必要性が認められ、その機関として大学院が重視されています。

このような要請に応じて農学研究科では、設置の趣旨・目的を、深い専門知識を有する高度技術者・研究者の養成に置いています。その目的を達するために、社会人の受け入れを2つの制度に基づき行っています。（「11. 社会人の受け入れ」参照）

2. 専攻及び募集人員

専 攻	募 集 人 員
応用生物・希少糖科学専攻	若干人

3. 出 願 資 格

社会人特別選抜を出願することができる者は、下記の出願資格のいずれかに該当する民間企業及び国・地方公共団体等の社員・職員です。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者及び2023年3月までに指定した者に該当する見込みの者
- (9) 大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があり、受験資格があると本大学院が認めた者で、22歳に達したもの及び2023年3月31日までに22歳に達するもの

4. 出願資格審査について

出願資格の(9)により出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

(1) 提出書類等

出願資格審査申請書	本学所定の用紙により、作成してください。
成績証明書	出身学校の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを提出してください。
卒業・修了(見込)証明書	出身学校の長が作成したものを提出してください。
修学等状況報告書	学習、研究あるいは実務の状況について、記述してください(A4用紙1枚以内、35文字×30行 1,000字程度)。

※上記以外の書類を請求する場合があります。

(2) 申請書類等の提出期限

2022年11月17日(木)17時まで(必着)

- ・窓口受付時間は、9時から17時までとします。
- ・郵送の場合は、期限内に**必着**するようにしてください。

なお、期限を過ぎて到着したものは受理しません。

(3) 出願資格審査の方法

提出書類により行います。なお、本大学院が必要と認めた場合は、面接を行います。

(4) 出願資格審査書類の提出先及び問い合わせ先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(出願資格審査書類を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。)

5. 出 願 要 件

社会人特別選抜に出願することができる者は、「3. 出願資格」のいずれかに該当する民間企業及び国・地方公共団体等の職員です。

- (1) 受験希望者は、出願前に必ず志望教員と研究テーマ及び教育方法等について、事前相談で確認し、出願の承諾を得た上で、出願してください。
- (2) 不明な点がある場合は、下記の学務係までお問い合わせください。

6. 出 願 手 続

- (1) 受験希望者は、出願前に志望教員(受験者が入学後に指導を希望する教員)と入学後の研究内容などについて相談してください。本研究科では、応用生物科学の全分野において希少糖の研究教育が受けられると同時に、すべての分野で横断的な教育を実現するために1専攻4コース制をとっています。よって入学後は、指導を受ける教員に関わらず、研究内容によって4つの教育コースの中から自分が受ける教育コースを選択することができます。なお、不明な点がある場合は、学務係(下記参照)へ電話で問い合わせてください。
- (2) 出願期間
2022年12月7日(水)から12月14日(水)まで。
受付時間は、9時から17時までです。
郵送の場合は、12月14日(水)17時必着とします。12月14日(水)17時を過ぎて着いた場合は、12月12日(月)までの消印があり、かつ、「簡易書留速達」であるものに限り受け付けます。
- (3) 出願書類等提出先及び問い合わせ先
香川大学農学部学務係
〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393
電話 (087) 891-3015(直通)
(出願書類等を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。)

(4) 出願書類等

入 学 願 書	本学所定の用紙により，作成してください。
成 績 証 明 書	出身学校（学部）の長が作成し，厳封されたものを提出してください。＊本学卒業生及び卒業見込みの者は厳封の必要はありません。4の出願資格審査で提出済の場合は提出不要です。
志 望 理 由 書	本学所定の様式により，2,000字程度で作成してください。
出 願 承 諾 書	本学所定の用紙により，作成してください。
卒業・修了（見込）証明書	出身学校（学部）の長が作成したものを提出してください。在学中の者は，卒業・修了見込証明書を提出してください。4の出願資格審査で提出済の場合は提出不要です。
プレゼンテーションの要旨	本学所定の様式により，1,200字程度で作成してください。
検 定 料	30,000円。入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上，2022年11月30日（水）～12月14日（水）の間に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 （注）通常，金融機関の窓口取扱時間は，平日の15時までです。また，土日・祝日は休業となりますので注意してください。
受験票・写真票	写真票には，出願前6か月以内に撮影した正面，上半身無帽の写真（4cm×3cm）を，所定の箇所に貼付してください。
受験票等送付用封筒	本学所定の封筒に自己の住所，氏名及び郵便番号を明記し，354円分の郵便切手を貼付してください。
そ の 他	外国人の志願者は，上記の出願書類のほかに在留資格を証明するもの（旅券の写しなど）を添付してください。

【注】 出願資格(2)該当者は，卒業証明書に代えて次の書類のうち1つを提出してください。

- 1) 学位記の写し又は学位授与証明書（大学改革支援・学位授与機構が作成したもの）
- 2) 修了（見込）証明書（専攻科）（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）
- 3) 学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書（大学改革支援・学位授与機構が作成したもの）
又は学士の学位の授与を申請した旨の証明書（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）

7. 入学者選抜方法

入学者の選抜は，プレゼンテーション及び口頭試問，成績証明書等の書類を総合して行います。

(1) プレゼンテーション

専 攻	プレゼンテーションの内容
応用生物・希少糖科学専攻	志望理由と入学後の研究計画を10分程度で発表してください。プロジェクターを使用することはできませんが，発表原稿（プレゼンテーションソフトの発表原稿機能を含む）は使えません。パソコンは持参してください。

(2) 口頭試問

口頭試問では，プレゼンテーションの内容について，質疑応答を行います。また，成績証明書等を参考にしながら，志望する動機と修学に必要な知識，論理的思考力，自分の考えを的確に伝える表現力，勉学・研究に対する意欲などを評価します。

8. 試験等の期日及び場所

月 日(曜)	区 分	時 間	場 所
1月19日(木)	受 付	12時30分～13時	香川大学農学部学務係 (詳細は，受験票送付時に通知します)
	試 験	13時15分～	

9. 合格者発表

2023年2月8日（水）午前9時頃（予定）から、本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します（電話による照会には応じません）。

香川大学ホームページ：<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

10. 入学手続

合格者には、2023年2月中旬頃に入学手続書類を送付しますので、入学手続期限（必着）までに教育・学生支援部教育企画課へ簡易書留・速達での郵送により手続を行ってください。ただし、最終日に限り、持参による手続を認めます。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

(1) 入学手続期限

2023年3月26日（日）17時まで（必着）

(2) 入学手続に必要なもの

1. 本学所定の誓約書

2. 入学承諾書1部《勤務先の所属長が作成したもの》：大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を希望しない者 {11. 社会人の受け入れ(1)の制度によるもの}

3. その他本研究科に必要な書類

4. 納付金

入学料 282,000円（予定）

〔授業料 前期分 267,900円（予定）〕
〔年額 535,800円（予定）〕

なお、入学時及び在学中に納付金が改定された場合には、改訂時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、2023年4月1日から2023年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア. 入学手続を行わなかった場合

イ. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学料・授業料の納付が困難な学生のために、免除や徴収猶予の制度があります。入学手続書類送付から手続までの期間が短いため、申請希望者は香川大学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuitioninfo/16198/>）で事前に必要書類をご確認ください。

④ 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、2023年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

(3) 入学手続書類送付先

〒760-8521

高松市幸町1番1号

香川大学教育・学生支援部教育企画課

11. 社会人の受け入れ

農学研究科では、社会人の受け入れを次の2つの制度に基づき行っています。

(1) 事業所において、①休職制度、②研修制度、③派遣制度、④その他勤務場所を離れ、指導教員の下で常時研究指導を受けることのできる措置に基づき、職務専念の義務を免除され、学業に専念できる者を対象としたもの。

これは、平日の昼間に研究指導を行う制度です。

(2) 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（「12. 特例措置による教育の概要」参照）による教育を受ける者を対象としたもの。

これは、勤務時間等の都合上昼間だけの学習が困難な社会人に対し、夜間その他特定の時間又は時期において研究指導を行う制度です。

12. 特例措置による教育の概要

(1) 標準修業年限

農学研究科（修士課程）の標準修業年限は2年です。

(2) 履修方法

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨を活用し、現に職業を有する社会人学生の履修に際してその便宜を図るため、以下の履修方法を採用します。

① 社会人で上記特例の適用を受けようとする者は、あらかじめ志望教員と修学の条件等について十分確認し、その希望を入学願書に明記の上で出願することとします。

② 上記特例を適用する場合、学生は、2年のうち最初の1年間は通常の時間帯による履修を原則とします。ただし、必要に応じて夜間及び長期休業期間中に指導教員との協議により特別のカリキュラムを作成することができます。

③ 指導教員の指導の下に特に綿密な履修計画を立てることとします。

④ 課程修了にあたって提出する学位論文の扱いについては、「大学院設置基準第14条に定める方法により教育を行う場合の手続き等について」（昭和57年11月16日文部省大学局長通知）の趣旨を尊重するものとします。

(3) 授業の実施方法

上記の特例による授業は、原則として夜間の2時限分（18時～19時30分及び19時40分～21時10分、6時限及び7時限に相当）及び土曜日に実施するものとし、当該授業担当教員と履修希望学生の実情に即して柔軟に対応します。

13. 注 意 事 項

(1) 入学手続を完了した場合であっても、大学卒業見込みで出願した者、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者が、2023年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合、学位を授与されなかった場合には、入学手続が無効になります。

(2) 障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：2022年11月17日（木）までです。

相談の方法：申請書（様式自由、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

連絡先：香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015（直通）

(3) その他

① 払込済みの検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1) 検定料を払い込んだが本学に出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合

2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※ 上記1)又は2)に該当される方は、香川大学入試課（電話（087）832-1182）へご連絡ください。

② 試験実施の詳細については、試験当日、受付にて指示します。

③ 学生募集要項（願書等を含む）を請求する場合は、香川大学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/catalogs/>）でご確認ください。

Ⅲ. 農学研究科教員名及び専門分野名一覧表

下記の表は、本研究科の所属及び関連教員の氏名、専門分野名、おもな研究内容を記したものです。志望する教員名及び専門分野名を願書等に記入してください。

※は、募集しない教員名。

【食料生産学】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
豊田 正範	作物生態生理学	作物の収量形成に関する生態生理学的・発育形態学的研究
川崎 淨教	動物栄養学	未利用資源の飼料化および動物の栄養生理、行動に関する研究
松本 由樹	家畜生体機構学	①腸管栄養吸収を制御する神経制御機構の解明と動物資源生産への応用 ②動物資源生産に有効な機能性飼料開発と飼育環境評価法の確立
武藤 幸雄	農業経済学	スマートフードチェーン構築を通じた農産物生産・加工・流通の発展可能性に関する研究
諸隈 正裕	作物栽培学	作物の有機栽培に関する栽培学的研究

【園芸科学】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
奥田 延幸	蔬菜園芸学	蔬菜の発育制御並びに優良系統の育成・増殖
高村武二郎	園芸資源開発学	園芸植物遺伝資源の評価と育種への利用ならびに園芸植物の花色発現の遺伝的・環境的制御
別府 賢治	果樹園芸学	果樹の新品種開発と結実生理に関する研究
望岡 亮介	果樹栽培学	未活用果樹野生資源の分布調査、評価、園芸学的利用、新品種の開発
小杉 祐介	園芸利用理工学	切り花・野菜の鮮度・品質に関わる生理特性およびその関連遺伝子の解析
鳴海 貴子	花き園芸資源科学	花き園芸植物の花の咲く仕組み、花形態制御機構の解明、新形質花き作出技術の開発に関する研究

【環境生態機能学】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
一見 和彦	浅海生産環境学	沿岸域における一次生産者を主とした生物生産環境とそれに関わる物質循環過程について
伊藤 文紀	昆虫生態学	社会性昆虫の行動と生態（特にアジア熱帯におけるアリ類の多様性、侵略アリの生態に関する研究）
多田 邦尚	生物・化学海洋学	沿岸海域の低次生物生産過程における生元素の挙動
山田 佳裕	生物地球化学	①水域における生元素循環に関する研究 ②水域生態系の評価法の開発
小林 剛	植物生態学	①陸生高等植物の生活史と生理生態 ②植物集団の構造と動態 ③生態系における生物間相互作用、生物多様性および物質循環
豊田 鮎	土壌生態学	落葉分解プロセス・植物生産を制御する土壌動物の機能解明
安井 行雄	進化生態学	動物（主に昆虫）の配偶行動や環境に対する適応について、ダーウィンの自然選択・性選択理論に基づいて研究している
山口 一岩	沿岸物質循環学	沿岸域における生物を介在する物質循環、エネルギー流の解析

【生物分子化学】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
加藤 尚 ※	植物生化学	植物のアレロパシーに関する生化学的・分子生物学的研究
佐藤 正資	生物活性化学	新規な生物活性物質の探索とそれらの作用メカニズム解明
鈴木 利貞	生物資源利用化学	生物資源のマテリアル利用とエネルギー利用に関する化学的研究
深田 和宏	生物物理化学	生体関連両親媒性物質の物性と機能性に関するコロイド界面化学的研究
古本 敏夫	植物機能化学	植物成分の探索・利用・生成機構および植物機能に関する化学的研究
柳田 亮	生物有機化学	生物活性を有する天然物の探索とその作用機構に関する有機化学的研究
Kong Lingbing	希少糖有機化学	希少糖および希少糖誘導体の有機化学合成と、それらの化合物の創薬展開を目指した生物学的解析を行う
花木 祐輔	生物制御分子化学	創薬シーズ化合物の探索、化学合成ならびに作用機構解析

【植物科学】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
秋光 和也	分子植物病理学	植物・病原菌間の相互反応に関する遺伝子の解明とその制御
市村 和也	植物ゲノム機能解析学	植物免疫を含めた環境ストレス情報伝達機構の解析、およびゲノム機能解析
京 正晴 ※	植物細胞制御学	植物細胞の個体発生の誘導方法とその制御機構に関する研究
五味 剣二	植物防衛応答学	植物の病原微生物に対する防衛機構の遺伝子レベルでの解析
野村 美加	分子植物栄養学	植物微生物相互作用に関する生化学的、分子生物学的解析
杉田(小西)左江子	植物分子育種学	イネ科作物、主にイネのゲノム情報を用いた有用遺伝子の遺伝解析、遺伝子単離および機能解析
望月 進	希少糖遺伝子工学	植物や微生物を中心に、希少糖の生産、代謝および作用に関連する遺伝子の機能についての研究を行う

【生命機能科学】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
木村 義雄	微生物生理学	細菌における栄養、温度、浸透圧などの環境変化に対する適応機構の解明
櫻庭 春彦	酵素工学	微生物、特に極限環境に生育する微生物が生産する酵素の機能および構造解析とその応用面の研究
末吉 紀行	分子細胞生物学	動物細胞における情報伝達、特に、タンパク質リン酸化・脱リン酸化を介した細胞内情報伝達機構の解明
田中 直孝	細胞生物学	真核細胞を用いた糖タンパク質の機能解析及び糖鎖合成機構の解析
田淵 光昭	応用分子細胞生物学	出芽酵母における膜ストレス応答の解析と酵母発現系による病原菌エフェクターの機能解析
渡邊 彰	微生物生化学	微生物、特にキノコ類が示す生命現象の解析（遺伝子・タンパク質レベルから個体レベルまで）とその応用面に関する研究
加藤 志郎	希少糖酵素工学	微生物由来の希少糖代謝関連酵素の機能解析および希少糖生産への応用研究
杉山 康憲	動物細胞生物学	動物や動物細胞を用いた生命現象や疾病に関する分子機構の研究
松沢 智彦	酵素学	微生物の酵素を駆使した生存戦略の解明とその応用

【食品科学】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
小川 雅廣	食品タンパク質化学	食肉，食卵，魚介類，乳などの動植物性食品に含まれるタンパク質の機能改善に関する研究
川村 理	食品衛生学	カビ毒（マイコトキシン）や低分子有毒物質に対するモノクローナル抗体の作製と免疫化学的測定法の確立，これらの食品汚染調査，ヒト曝露とリスク評価に関する研究
高田 悟郎	応用酵素化学	微生物および酵素を用いた希少糖やオリゴ糖などの機能性糖素材の生産に関する研究，微生物の生産する酵素に関する構造学的・分子生物学的研究
田村 啓敏 ※	食品化学	食品の感覚特性（フレーバー特性）及び生理機能特性に関する化学的解析
松尾 達博	栄養学	食餌と運動が動物の生体内代謝に及ぼす影響およびそれらの相互作用の評価
森本 兼司	酵素利用学	微生物および異性化・合成酵素を用いた希少糖の生産およびその分離技術に関する研究
米倉 リナ	食品化学	①食品の機能性成分の消化・吸収・機能性評価 ②オリーブ果実の加工法及び官能評価に関する研究
吉原 明秀	酵素利用学	微生物の生産する希少糖生産酵素およびそれら酵素を用いた様々な希少糖の生産に関する研究を行う

【本研究科に所属していない教員（客員教授・客員准教授・非常勤教員を含む）】

氏 名	専門分野名	おもな研究内容
何森 健 ※	酵素利用学	酵素や微生物を用いた糖転換反応を利用して希少糖を生産し，その用途に関する研究を行う
神鳥 成弘	構造生物化学	単糖，オリゴ糖，多糖を基質とする酵素，および糖鎖認識結合タンパク質の3次元構造と機能との関係について研究を行う
中島 芳浩	細胞生物学	糖脂質等の生理活性物質の細胞内シグナルネットワークにおよぼす影響について研究を行う
安部 博子	糖質生物学	出芽酵母を利用して有用糖タンパク質を生産するための手法の確立および糖質の免疫制御機能についての研究を行う
中北 慎一	糖鎖生物学	生体内における糖鎖の生物学的機能を，その化学構造側からの研究に焦点を当て，どのような意味を持つかについて研究を行う
吉田 裕美	蛋白質工学	3次元構造情報に基づく分子設計および部位特異的変異法による，単糖，オリゴ糖，多糖を基質とする酵素の機能改変についての研究を行う

IV. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度の対象となるのは、職業を有している等の事情により、本研究科の標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する者です（ただし、外国人留学生は本制度に申請できません）。

この制度では、2年間で設定されている教育課程を4年間で上限として履修計画を立て、長期履修学生として在籍することが可能です。長期履修学生として認められた場合の授業料は、履修期間にかかわらず原則として2年間に支払うべき授業料総額を3年間又は4年間に分割して支払うことになります。

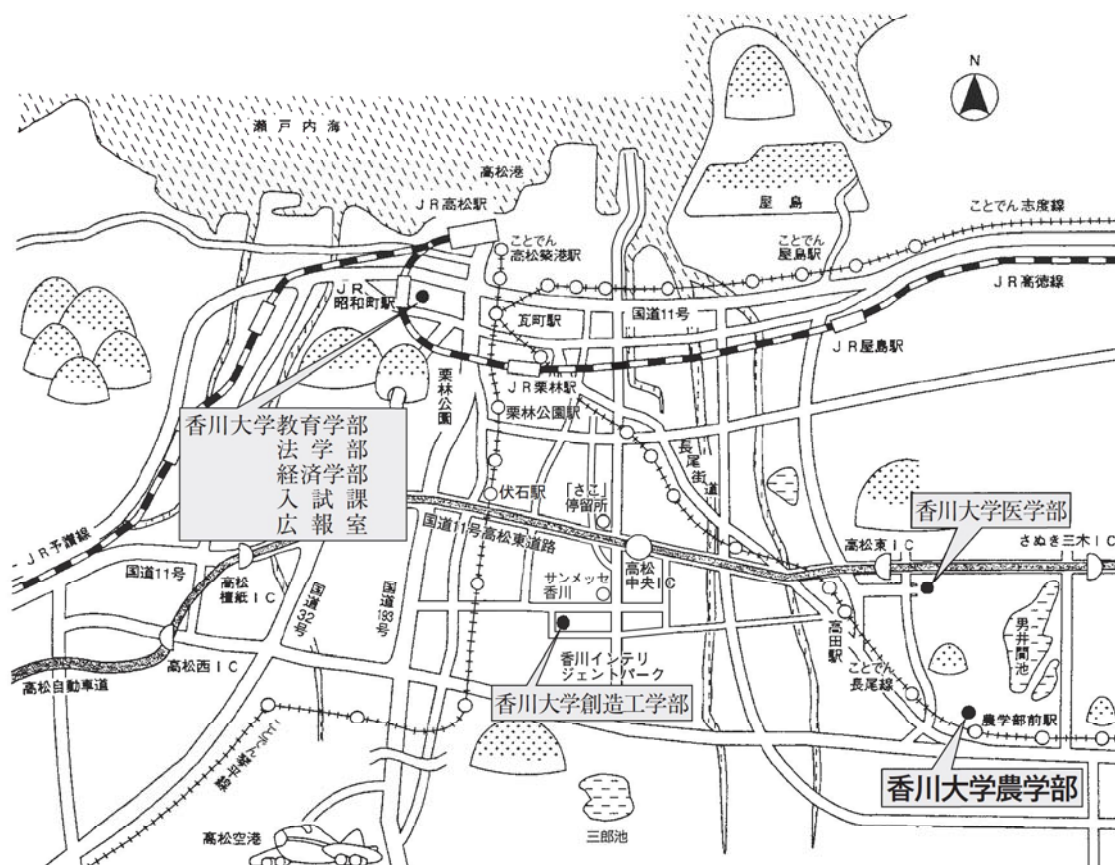
長期履修学生制度の適用を希望する者は、入学試験の出願時に希望の有無を記入してください。

また、合格者には、長期履修学生申請書等を入学手続書類と一緒に送付します。申請書等の審査を経て、長期履修学生制度の適用が決定します。

問い合わせ先

香川大学農学部学務係 TEL (087) 891-3015 (直通)

香川大学試験場案内図



農 学 部

電 車	ことடன்長尾線「高松築港駅」————→「農学部前駅」下車 徒歩2分（北へ100m）
バ ス	大川バス 引田線（高松駅前⑧番のりば）「高松駅」————→「農学部前」下車 徒歩5分（北へ250m）
タ ク シー	J R 高松駅————→香川大学農学部 約40分 約4,400円

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

入学試験等に関する照会先

香川大学入試課

TEL (087) 832-1182

〒760-8521 高松市幸町1番1号

香川大学農学部学務係

TEL (087) 891-3015 (直通)

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

香川大学ホームページ

<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。

PROSPECTUS
ADMISSION TO THE GRADUATE SCHOOL
OF AGRICULTURE (MASTER'S PROGRAM),
KAGAWA UNIVERSITY, ACADEMIC YEAR 2023
(SPECIAL EXAM. FOR FOREIGN STUDENTS)

1. Division

Applied Biological and Rare Sugar Sciences

2. Qualification for Application

Applicants are required to meet at least one of the following qualifications.

- (1) Applicants must have graduated from a university or college as provided by Clause 1, Article 83 of the School Education Law, Japan, or are expected to graduate by the end of March 2023.
- (2) Applicants must have received a Bachelor's degree as provided for by Clause 4, Article 104 of the School Education Law, Japan, or a degree from a technical college that is authorized by the National Institution for Academic Degrees, Japan by the end of March 2023.
- (3) Applicants must have completed a 16-year school education in foreign countries, or are expected to complete such an education by the end of March 2023.
- (4) Applicants must have completed a 16-year school education by taking a correspondence course offered by a foreign school and completing it in Japan or are expected to complete such an education by the end of March 2023.
- (5) Applicants must have completed the courses designated in particular by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan, at an educational facility defined as one that has courses of foreign universities in the school educational system of the foreign country, or are expected to complete such courses by the end of March 2023. In addition to the above conditions, applicants must have completed a 16-year school education in a foreign country.
- (6) Applicants must have been designated as special cases or are expected to be applicable for such designation by the end of March 2023 by the Ministry of

Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan.

- (7) Applicants must have been selected by the Graduate School of Agriculture, Kagawa University from candidates who would be on the university or college register for more than 3 years at the end of March 2023.
- (8) Applicants must have entered other graduate schools as provided by Clause 2, Article 102 of the School Education Law, Japan, and have an academic attainment equal to or higher than that of a holder of a Bachelor's degree. The qualifications shall be examined by the Faculty Committee.
- (9) Applicants must have surpassed university or college graduates in scholastic ability, and have reached 22 years of age, or are going to be 22 years of age by the end of March 2023.

N.B.

Applicants who want to apply under qualification criteria (7), (8) or (9), must contact the Educational Affairs Section, Faculty of Agriculture, Kagawa University by November 17 (Thu), 2022.

3. Entrance Examination

Consideration will be given to all test results (Presentation and Interview), academic records, etc.

Exam of Presentation and Interview will be conducted in the appropriate Division.

4. Date and Place of Examination

Date	Test	Time	Place
Jan. 19 (Thu), 2023	Registration	12:30 ~ 13:00	Faculty of Agriculture, Kagawa Univ.
	Presentation and Interview	13:15 ~	

5. Application Term

Application documents will be accepted between 9:00 and 17:00 from December 7 (Wed), 2022 to December 14 (Wed), 2022, except on Saturday, Sunday and national holidays. When mailed, the application documents must be received by 17:00 on December 14 (Wed), 2022.

Late applications will not be accepted.

6. Application Procedure

The following documents and the application fee must be submitted to :

Academic Affairs, Faculty of Agriculture, Kagawa University.

Ikenobe 2393, Miki-cho, Kita-gun, Kagawa 761-0795

Tel +81-(0)87-891-3015

(1) Application form:

Be sure to fill out all parts of the application.

(2) An academic record and a letter of recommendation:

Be sure to fill out all parts of the form prescribed by your university.

(3) Statement of reason for application:

Be sure to fill out all parts of the prescribed form.

Japanese or Foreign Government Scholarship Students at our University may submit a statement of plan for study at our Graduate School.

(4) Certificate of graduation or of expected graduation

(5) Summary of presentation

Be sure to follow the Presentation Summary Guidelines.

(6) Application fee (except those who obtain the Japanese Government Scholarship):

Application fee: 30,000 Japanese yen

Payment Period: November 30, 2022 to December 14, 2022 (JST)

The application fee must be transferred to our bank account in Japanese currency (JPY) in the name of the applicant. Bank transfer fees (both domestic charges and charges from the Japanese bank) are to be paid by applicant. Bank services and charges may vary, depending on the respective institution. Please confirm the details of

the transfer application fees and other fees with your financial institution.

The application fee is non-refundable.

Bank Information

Bank name:	The Hyakujushi Bank,Ltd
Bank code:	0173
Bank address:	5-1, Kamei-cho, Takamatsu, Kagawa, JAPAN 760-8574
Branch name:	Head Office
Branch code:	101
SWIFT Code:	HYAKJPJT
Account number:	2785280
Account name:	Kagawa University

Inquiries may be made at the Admission Division of School Affairs Department. (Tel: +81-(0)87-832-1182)

(7) Photograph: Paste your photograph on the designated part of the Picture Ticket. The photograph must have been taken within the past six months, be a bust-portrait with bare-head and full-face, 4cm × 3cm.

(8) Certificate of qualification as a foreign resident :
A certificate of alien registration or a copy of visa, etc.

N.B. Research students in our University may submit copies for items (2), (4) and (8).

7. Announcement of Successful Candidates

The list of successful candidates will be announced around 9:00 on February 8(Wed), 2023 on the Kagawa University website. In addition, an offer of Admission will be sent to each successful candidate by mail.

8. Enrollment Procedure

The necessary documents and payment will be accepted by March 26(Sun), 2023 at 17:00.

Successful candidates who have not taken enrolled within the prescribed period are considered to have no wish to enroll.

Successful candidates will be informed of enrollment procedure.

The following are necessary for the enrollment procedure.

- (1) Written pledge of good conduct
- (2) Other documents needed for enrollment
- (3) Entrance expenses (except those who obtain the Japanese Government Scholarship)
 - (i) Entrance fee: 282,000 yen.(It may change without previous notice.)
 - (ii) Tuition: 267,900 yen for the first semester. (It may change without previous notice.)

9. Important Notices

- (1) Applicants are strongly recommended to consult with proposed academic advisor about the content of presentation.
- (2) Applicants must keep the Entrance Examination Ticket on their person during the examination.
- (3) The application fee is not refundable except for the following cases:

After the payment of the application fee, if the applicants have not submitted the application documents or the applications documents have not been accepted.

If the application fee has been paid twice.

For more information, contact the Admission Division of the School Affairs Department. (Tel: +81-(0)87-832-1182)